

# 2019年度 上半期経営状況

茨城県信用農業協同組合連合会の2019年度上半期(2019年4月1日から2019年9月30日)における経営状況(単体)について、ご案内いたします。

## 業 績

1. 主要勘定の状況(期末残高)
2. 損益の状況
3. 単体自己資本比率の状況
4. 不良債権の状況
5. 有価証券等時価情報

## 社会的責任と地域貢献活動

1. 地域からの資金調達の状況
2. 地域への資金供給の状況
3. JAバンク自己改革の取組み
4. 文化的・社会的貢献活動



JAバンク茨城県信連

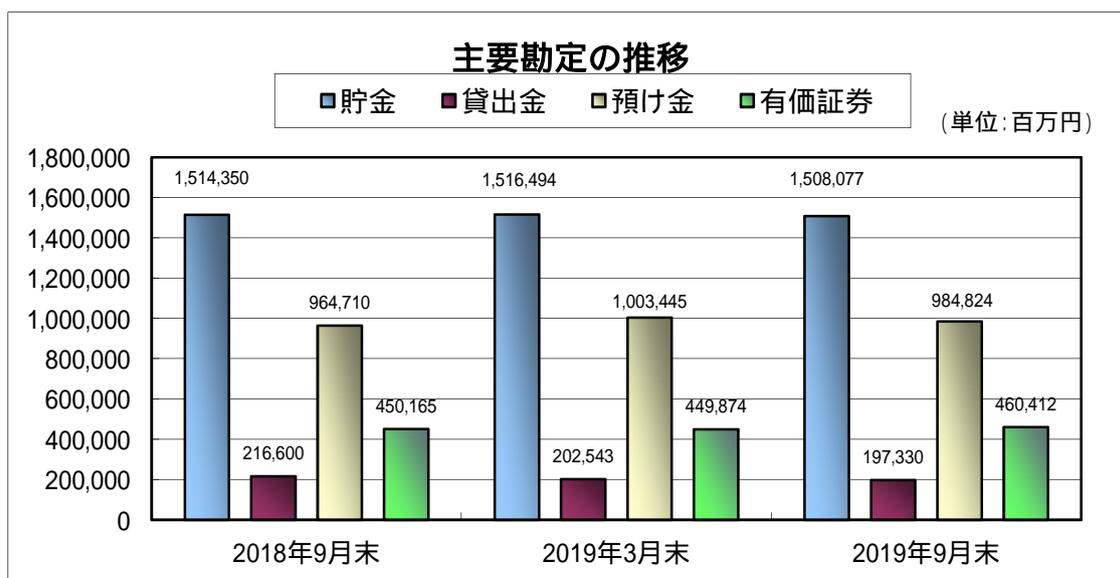
Ibaraki Prefectural Credit Federations of Agricultural Cooperatives.

# 業 績

## 1. 主要勘定の状況(期末残高)

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
貯 金	1,514,350	1,516,494	1,508,077
貸 出 金	216,600	202,543	197,330
預 け 金	964,710	1,003,445	984,824
有 価 証 券	450,165	449,874	460,412



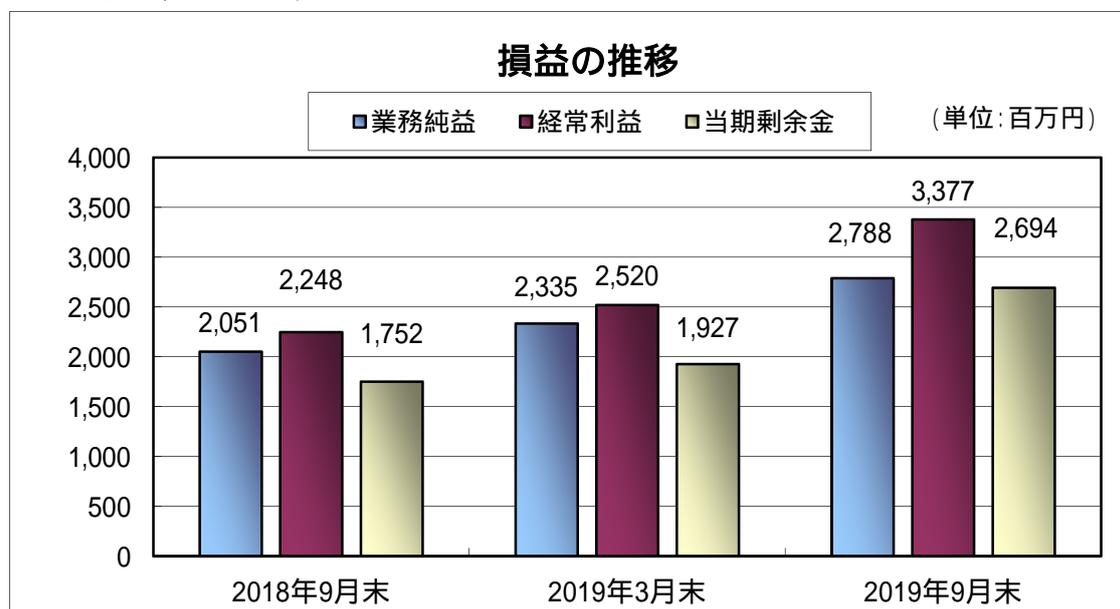
## 2. 損益の状況

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
業 務 純 益	2,051	2,335	2,788
経 常 利 益	2,248	2,520	3,377
当 期 剰 余 金	1,752	1,927	2,694

(注) 2018年9月末および2019年9月末は、半期実績です。

2019年3月末は、年間実績です。

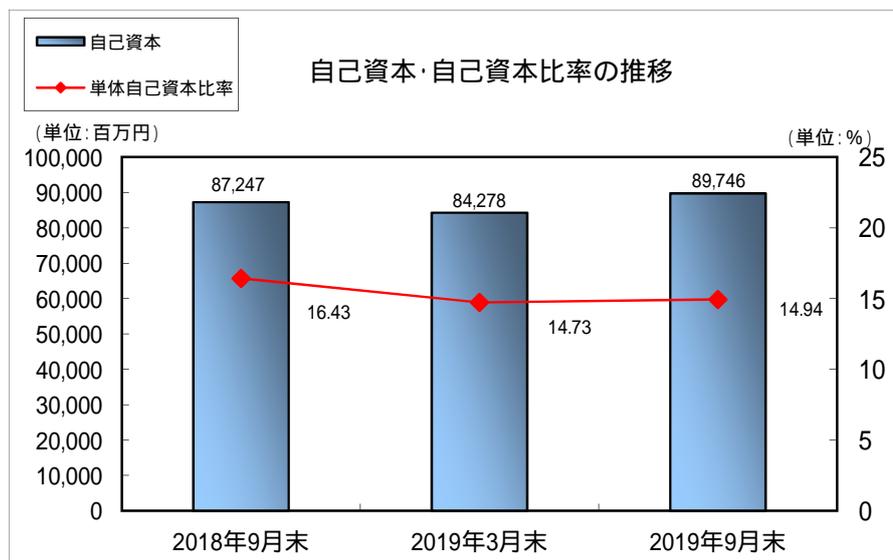


### 3. 単体自己資本比率の状況

(単位:百万円, %)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
自己資本の額	87,247	84,278	89,746
リスク・アセット等	530,714	572,062	600,536
自己資本比率	16.43%	14.73%	14.94%

(注) 「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年3月28日付金融庁・農林水産省告示第二号(最終改正:平成31年3月15日付金融庁・農林水産省告示第三号))に基づき算出しています。

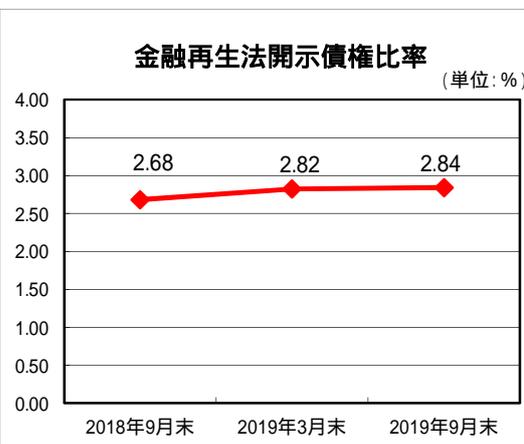


### 4. 不良債権の状況

#### (1) 金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
債権総額 A	218,228	204,090	198,849
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	293	291	290
危険債権	5,539	5,445	5,348
要管理債権	10	10	10
金融再生法開示債権総額 B	5,843	5,747	5,648
正常債権	212,384	198,343	193,200
担保保証等回収可能額 C	3,488	3,364	3,276
貸倒引当金 D	2,348	2,375	2,366
金融再生法開示債権比率 B/A	2.68%	2.82%	2.84%
保全率 (C+D)/B	99.88%	99.88%	99.88%



(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態および経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。なお、当会は同法の対象とはなっていませんが、参考として同法の定める基準に従い債権額を掲載しています。

1. 破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始, 更生手続開始, 再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

2. 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3. 要管理債権

3か月以上延滞債権で上記1および2に該当しないものおよび貸出条件緩和債権をいいます。

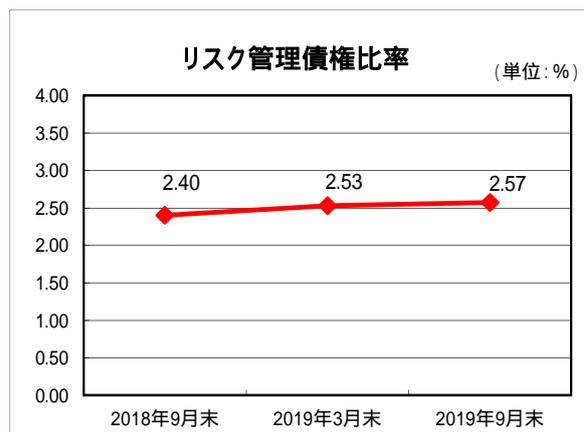
4. 正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

## (2) リスク管理債権残高

(単位: 百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
貸出金 A	216,602	202,543	197,332
破綻先債権	-	-	-
延滞債権	5,178	5,118	5,056
3か月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	10	10	10
リスク管理債権総額 B	5,189	5,129	5,066
担保保証等回収可能額 C	2,852	2,756	2,704
貸倒引当金 D	2,329	2,365	2,356
貸出金に占めるリスク管理債権比率 B/A	2.40%	2.53%	2.57%
保全率 (C+D)/B	99.87%	99.87%	99.87%



(注) 1. 破綻先債権

元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

2. 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

3. 3か月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものをいいます。

4. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

## 5. 有価証券等時価情報

### (1) 有価証券

(単位: 百万円)

保有区分	2018年9月末			2019年3月末			2019年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
売買目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	436,168	450,165	13,996	430,346	449,874	19,528	437,491	460,412	22,921
合計	436,168	450,165	13,996	430,346	449,874	19,528	437,491	460,412	22,921

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

2. その他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

### (2) 金銭の信託

(単位: 百万円)

保有区分	2018年9月末			2019年3月末			2019年9月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	6,000	6,081	81	3,949	3,949	-	6,000	6,063	63
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	11,000	11,563	563	11,000	11,800	800	13,000	15,187	2,187
合計	17,000	17,645	645	14,949	15,750	800	19,000	21,250	2,250

(注) 1. 時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。

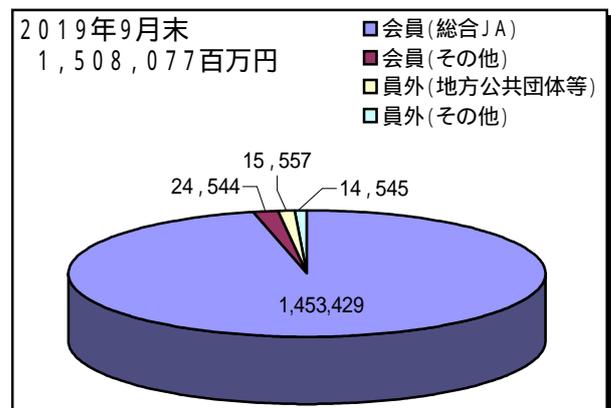
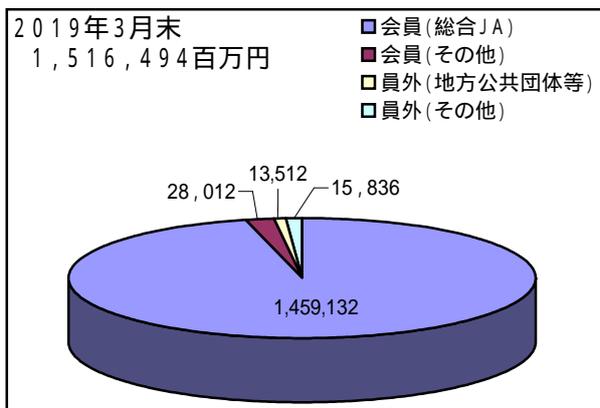
2. その他金銭の信託の取得価額は、償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

# 社会的責任と地域貢献活動

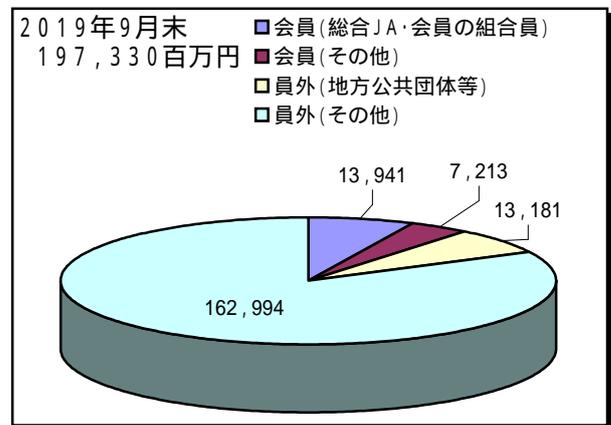
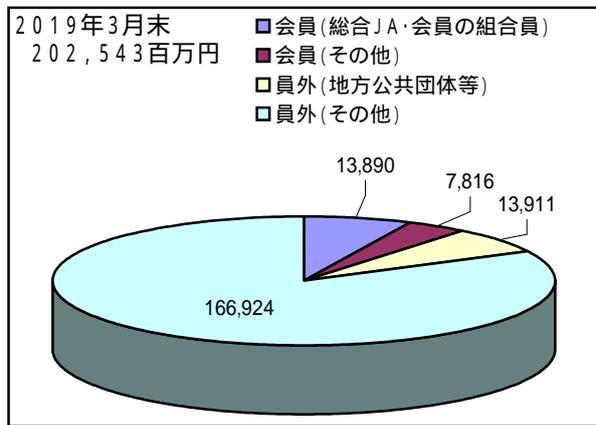
当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた組合員および利用者みなさまの大切な財産である貯金です。お預かりした大切な貯金は、資金を必要とする組合員および利用者みなさまや、JA・農業に関連する企業および地方公共団体などに供給することによって、地域社会・地域経済の発展に貢献しています。

また、当会は文化、教育、環境に対する貢献活動を通じて、豊かな地域社会の実現に向けた取り組みを行っています。

## 1. 地域からの資金調達の状況 貯金残高



## 2. 地域への資金供給の状況 貸出金残高



### 主な農業資金の取扱状況(2019年9月30日現在)

(単位:百万円)

資金名	当会および 県下JAの取扱残高	資金の内容
新認定農業者育成特別資金	6,947	認定農業者の農業経営に関わる一切の資金
農業経営拡大資金	5,246	農業経営に関わる一切の資金
農業近代化資金	2,066	施設・機械の取得, 果樹の植栽・育成, 家畜の購入・育成, 長期運転資金等
JA営農ローン	617	営農に必要な資金(運転資金)
就農施設支援資金	311	農業経営を開始する際に必要な機械, 施設または資材の購入等に必要資金
農業改良資金	124	新たな農業部門・農産物加工事業を始めるための資金

### 3. JAバンク自己改革の取組み

#### 自己改革に対する基本的考え方

当会3か年中期経営計画では、人口減少や少子高齢化に伴う事業基盤の変化など、本会を取り巻く情勢を十分認識し、JA自己改革を踏まえた取組み内容としています。この環境を「生き残りをかけた大規模な変革実践」のときと捉え、強い姿勢をもって、目標達成に向けて取り組みます。

#### 2019年度の取組み

#### 「農業者の所得増大への貢献・信用事業を通じた組合員農業経営支援の強化」について

##### 1. 出向く体制の整備

2016年度から、JA全農いばらきとの連携による同行訪問等出向く体制を整備し、担い手経営体(農業法人)への直接アプローチを強化してきました。

2019年9月末現在、選定した117先の農業法人に対し、それぞれが持つ情報を共有し、JAグループの総合力を発揮した事業提案を行いました。このような担い手経営体の事業規模拡大に向けた支援をしていくなかで、2先45百万円の融資取引実績がありました。

##### 2. 県域企画応援事業

JA・各会と連携のもと、4つの事業を実施しています。

###### (1) JAグループ茨城農畜産物商談会(JA全農いばらき共同参加)

昨年度に続き、販売チャネル拡大による農業所得向上を目的として、関西最大の業務食品の総合見本市である「FABEX 関西2019」にブースを設け、商談会を開催しました。

当年度は10月16日から10月18日にかけて大阪府のインテックス大阪において参加し、盛況のうちに閉会することができました。

<開催状況>

場 所	インテックス大阪
日 程	2019年10月16日(水)～ 2019年10月18日(金)
出 展 者	県内JA、農業法人等 計21団体
来 場 者	中食・外食・小売業者等 計39,724名

<商談会の模様>



###### (2) 農業機械導入助成事業

規模拡大等によりコスト低減に取り組む農業者等への支援を目的に、農業機械購入費用の一部助成を実施しています。

###### (3) 農業資金関連

- ・担い手農業者に対する(新認定農業育成特別資金)利子助成事業
- ・農業近代化資金保証料助成事業

農業者等が、JAから新認定農業育成特別資金をお借入した場合の利息相当額負担軽減を図るための利子助成および農業近代化資金をお借入した場合の諸費用負担軽減を図るための一括前払い保証料全額助成を実施しています。

#### 今後の取組み

当会では、2019年度事業計画において、「JAの収益向上」「安定的な還元の確保」「業務の効率化・刷新」などの重点施策事項に基づき、自己改革に関する具体的な取組みを実施していくこととしています。

## 4. 文化的・社会的貢献活動

### 「食農教育応援事業」への取り組み

JAバンクによる食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子供たちの農業に対する理解の深耕を図り、農業ファンの拡大と地域の発展に貢献することを目的に、食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとする教材本を作成しています。

この教材本は、県内小学校497校の5年生を対象に、県内各JAから37,320冊を無償配布し、社会科・理科・総合学習のなかで広く活用されています。

<贈呈式の模様>



<教材本>



<食農セミナー>



### 「JAバンク茨城年金友の会グラウンド・ゴルフ交流大会」の開催

県内の各JA年金友の会で組織する「JAバンク茨城年金友の会」では、2019年10月3日(木)に「第15回JAバンク茨城年金友の会グラウンド・ゴルフ交流大会」を銚田市・いこいの村涸沼において、県内各地より計486名の参加エントリーを得て開催しました。

<グラウンド・ゴルフ交流大会の模様>



### 「JAバンク茨城年金友の会情報誌, 会員証」の発行

<情報誌第23号>

<会員証>

県内JA年金友の会の活動内容や、暮らしに役立つ情報等を中心に、「JAバンク茨城年金友の会情報誌」を当会にて年1回(11月)発行するとともに、県内JAの年金友の会の会員約11万人の方を対象に「JA年金友の会会員証」を発行しています。

この会員証は、県内の各JAに年金の振込指定された方を対象に発行しており、会員証をご提示いただくと割引等のサービスが受けられる仕組みとなっています。

協力店舗は191店舗(2019年9月末)あり、JAバンク茨城では現在、特典協力店舗の拡大に努めています。



## ボランティア活動への取組み

「JAバンク茨城県信連ボランティアサークル」を設立し、ボランティア活動を通じ、地域社会に還元・貢献していくことを目的としています。

### 環境保全(茨城エコ事業登録制度)への取組み

当会は、地球環境に配慮した取組みを積極的に行う事業所を茨城県が登録する「茨城エコ事業所登録制度」に申請し、2008年11月10日に「AAA」の登録認定を受けました。

当サークルでは、下記の活動を通じ、省エネルギー、循環型社会への貢献を継続的に実行しています。

- ・千波湖周辺花壇の花苗植え参加
- ・桜川水系クリーン作戦参加

### < 桜川水系クリーン作戦の様相 >



### フードバンクへの取組み

きずなBOX(食品収集箱)を設置し、2019年12月4日にフードバンク茨城へ食品を提供し、必要とする施設等に届けられました。

### < フードバンクへの取組み様相 >





## 2019年度 上半期経営状況

2019年12月掲載

茨城県信用農業協同組合連合会 総務企画部

〒310-0022 茨城県水戸市梅香1-1-4

TEL029-232-2017